

# Peace Quest 2017 Autumn-Winter “Sympathy～心をひらき、認め合おう～” 実施報告書

Dec. 2017

一般社団法人 SPUTNIK INTERNATIONAL

## ◆ごあいさつ

いよいよ今年も残すところ僅かとなりました。

平素は SPUTNIK International に多大なご支援を頂き、ありがとうございます。心よりの感謝を込めて御礼申し上げます。

さて、皆様のご協力の下、第 28 回目となるチャリティ・コンサート「Peace Quest2017 Autumn-Winter」を成功裏に終えることができました。ここに概要を記し、報告とさせていただきます。

まだまだ至らぬ点多くございますが、これからも、私共 SPUTNIK International へのご指導、お力添えのほど、どうぞよろしくお願いいたします。

## ◆イベント概要

今年のPeace Questのテーマ、そして2017年の私たちの合言葉は “Sympathy～心をひらき、認め合おう～”でした。

世界中で、異なる文化や習慣を持つ人との関わりを、できるだけ避けようとする動きが盛んになっていますが、私たち SPUTNIK International は、設立以来ずっと、

- ・ 国境や人の心の中に、高い壁を築く事によってではなく、
- 一人でも多くの人に世界に向かって開かれた心の窓を持ってもらう事が、
- ・ 異なる文化・習慣との出逢いを、共に歩めない言い訳としてではなく、
- その違いを認め合い、互いに尊敬し合える友を持つチャンスと捉える事が、

平和な世界へ通じる道だと信じています。

そんな想いを込めて活動してきた今年1年間の締めくくりとなる今回のPeace Questには、光栄にも、スリランカ共和国特命全権大使、ダンミカ・ガンガーナート・ディサーナーヤカ閣下が来賓としてお越しく下さいました。創設理事、秋沢淳子の挨拶に続いて登壇された大使が、観客席が息をのむほど流暢な日本語で、来場者、支援者のみなさんへの感謝、そして私たち SPUTNIK International の活動への賛意を述べて下さるのを聴き、スタッフ一同、身の引き締まる思いでした。お忙しい中、ご来場、本当にありがとうございました。

大きな拍手の後、テレビドラマや映画で活躍中の女優、鈴木聖奈さんの司会で進化した次のプログラムは、AFS留学で秋沢と出逢い、共に SPUTNIK International を立ち上げた、スリランカ側創設理事、エシヤンタ・アーリアダーサからのビデオメッセージ。これまでの支援への感謝とともに、日本語学校の新校舎購入計画や整備中の児童遊園、おもちゃ図書館など、最新の現地の最新の様子が報告されました。

続いての登場は、東京農業大学 熱帯作物学研究室の4人の大学生のみなさん。今年8月、およそ20日間にわたってスリランカをスタディーツアーで訪れた彼らが、有機農業の実習を通して学んだ事、日本語学校の生徒、ガールズホームの子どもたちとの交流、ファームステイや各地視察で触れたスリランカの人と文化について説明。借り物ではない、彼ら自身の言葉でのプレゼンテーションに、会場からあたたかい拍手が寄せられました。

そしていよいよコンサート開始。

チャリティ出演一組目は、吉田ゆか子さん、大西由希子さんによる、バリ舞踊。

伝統芸能の研究者と舞踊家というそれぞれの立場からバリ舞踊に魅せられ、現地の寺院で舞いを奉納するまでになったお二人に、登場人物が老賢者と宮廷の女官という全く趣の異なる二つの演目を、民俗学博士である吉田ゆか子さんの解説を挟んで踊っていただきました。最前列のスリランカ大使も観客のみなさんも、バリ舞踊の魅力に、笑顔とため息の連続。

お付き合いは長くとも、同じステージは今回Peace Questが初めてというお二人。次の競演が楽しみです。

続いて、XQ's結成10周年を記念して、  
スペシャルトークショー。

XQ's結成の提唱者、ギター担当の株式会社生活の木重永忠社長、バンドマスターでギター担当の株式会社OKUTA山本拓己社長、SPUTNIK International創設理事 秋沢淳子が登壇し、スクリーンに映し出される、懐かしくてちょっぴり恥ずかしい写真を見ながら、Peace Quest 創成期の話、XQ's誕生秘話、その名の由来から、これからの抱負など、大いに話が弾みました。  
途中、結成当時のメンバーが客席から登場する心憎い企画があり、檀上の3人もびっくり。仕掛け人のヴォーカルのMasaさん、グッジョブです！



ここでしばし休憩。

ホワイエで、スリランカ、ガーナでの活動紹介パネル展示、スリランカ、ガーナ物産、ステージプログラムにちなんで、インドネシアのフェアトレード商品、ニュージーランドはちみつなどのチャリティ販売が行われ、多くのお客様がそれぞれの国に想いを馳せながら、お気に入りの品物を手にされました。

SPUTNIK カフェでは、スリランカ・フード～昨年に続き、中野のレストラン「アチャラナータ」より～、ココア、紅茶をお楽しみ頂き、みなさまに、ひととき、異文化体験や国際交流の楽しさを感じていただきました。

休憩後のオークションでは、

出品商品の紹介や落札者の方へのインタビューなどに、若いSPUTNIK スタッフたちが大活躍。協力企業から頂戴した素敵な商品に、お客様から沢山の手が上がりました。

そして、満を持して登場の社会貢献バンド XQ's。

ヴォーカルPekoさんとMasaさんとのソウルフルな歌声、いぶし銀のレギュラー陣の演奏にex-maleから特別参加のホーンセクション4人のプラスが加わった、Peace Quest史上最も豪華なXQ'sのパフォーマンスに、お客様もスタッフも、すっかり魅了されました。

フィナーレは、私たちにいつも勇気をくれる、スリランカの子どもたち、若者たちの写真をバックに、ステージ、観客席一体になってWe are the worldを歌い、幕となりました。

ご協賛いただきました皆様、ご来場、ご出演いただいた皆様、ワールドバザール出店者各位、イベントに携わった多くのボランティアスタッフの皆様のおかげで、これまで以上に国際色豊かな、楽しく、活気あるコンサートであったことを、心からの感謝とともにご報告させていただきます。

今回得られた収益は・・・

- ・ 東日本大震災で被災した方への支援
- ・ SPUTNIK国際教育文化交流会館の維持、2018年度の常駐日本語教師支援、染め工房スタッフ支援
- ・ SPUTNIK Girls Homeの孤児達の支援
- ・ NPO法人グリーンバード協同プロジェクトであるスリランカでのゴミ拾い支援
- ・ スリランカ、クルネガラにある高校に通う生活困難家庭の優秀な生徒への奨学金(20名)
- ・ (公財)AFS日本協会と共同で行っているスリランカ高校生の『日本への1年間留学』支援
- ・ その他、スリランカでの活動で必要と思われる事案

に対し使われます。

SPUTNIK International Japan, Sri-Lanka, & Ghana. 我々の地道な活動が、必ず世界平和へ通じる道だと信じております。

## ◆実施概要

主催：一般社団法人SPUTNIK International 及びSPUTNIK International Sri Lanka Organization

特別協力：原宿クエストホール

後援：スリランカ大使館/ AFS 日本協会/ 人間力開発協会/ 全日本ヨガ連盟/ 日本青年会議所/  
リベラルアーツ推進協会 /greenbird / BILLY Promotion

協賛：BEAMS/ 生活の木 / 星河/ ミキジ/ シロノクリニック/ クーインターナショナル/ 英治出版/ ユーエムイー/  
矢東タイヤ/ 麻布サイコ& カウンセリングクリニック/ 医療法人敬愛会ザナチュラルビューティークリニック

協力：ドクターシーラボ/ 西日本陶器/ ピアザエコファームカフェ632 / 美容室BILLY / 葉山パッパニーニョ/

日時：2017年12月9日(土) 開場 ホワイエバザール 12:00～ コンサート開演 14:00～

会場：原宿クエストホール [東京都渋谷区神宮前1-13-14]

会費：一般2,500(前売 2,000) 円、在日外国人及び学生1,500(前売1,000)円 ホワイエバザールのみ：無料

入場者数：コンサートとホワイエバザール合わせて 約240名

内容：

・プレゼンテーション：

SPUTNIK International Sri Lanka エシヤンタ・アーリヤダーサからのビデオメッセージ

東京農業大学 学生による、スリランカ・スタディーツアー報告

・XQ's結成10周年記念スペシャル・トークショー

XQ'sとPeace Quest の10年を振り返って

・チャリティーコンサート：

バリ舞踊 吉田ゆか子、大西由希子

社会貢献バンド XQ's

・チャリティオークション

・ホワイエバザール

スリランカからは紅茶、ぞうさんペーパー、染め工房プロジェクト草木染め製品その他スリランカ、ガーナの物品、  
インドネシアからは各島のカカオだけを使ったフェアトレードチョコレートPipiltin、女性と子どもたちのいのちを守る  
ヤシの手編み物ブランドDu'Anyam、ニュージーランドはちみつPBees(ピービーズ)、竹浪 明(Sri Lanka写真集)、

・スリランカ、ガーナ活動紹介パネル展示、古本寄付受付(ハッピーブックプロジェクト)、そろばん、文房具寄付受付

## ◆出演者プロフィール

### 吉田ゆか子、大西由希子 (バリ舞踊)

#### 吉田ゆか子(よしだ ゆかこ)

文化人類学者(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所助教)。

2000年よりインドネシア・バリ島に頻りに渡航し、現地の芸能文化、なかでも仮面芸能を調査し、その過程で自らも芸能を学んだ。現地では、お世話になった人々への恩返しの意味もこめて、バリ・ヒンドゥ教の儀礼で上演される仮面舞踊劇や、ガムラン音楽演奏に参加している。日本国内でも、研究の傍ら、演奏、舞踊、バリ芸能紹介イベント開催などの活動を行っている。主な著作に『バリ島仮面舞踊劇一人とモノの織りなす芸能』(2016年、風響社)がある。



#### 大西由希子(おおにし ゆきこ)

大学在学中に初めてバリ島を訪れ、バリの踊りに魅せられる。

その後、バリ島への渡航を重ね、1996年～1999年インドネシア国立デンパサール芸術大学舞踊科に留学。滞在中はバリ島各地の寺院にて奉納舞踊を多く行う。

帰国後は京都を拠点にバリ舞踊教室「Cili Dewi」を主宰(2001～2012)。

自主企画公演や様々なイベントでバリ芸能の紹介に努めてきた。2014年より東京在住。





## 社会貢献バンド XQ's (エクスキューズ)

ソーシャルレスポンスビリティな生き方を理想とするメンバーで構成されている、社会貢献バンド「XQ's」。

バンド理念は、「BSR」(Band Social Responsibility バンド活動による社会貢献)

メンバーそれぞれの音楽嗜好性は、ロック、フュージョン、ファンク、ソウル、ヘヴィメタル、と多種多様。

異なる音楽嗜好でも、社会のお役に立ちたく、お互いの違いを尊重し合いながら、年齢をまったく気にせず活き活きと活動している。



### <メンバー紹介>

#### 【vocal】豊島智子(Peko)

東京生まれ。14才でロックコンテストにて最優秀ボーカリスト賞を獲得。以来スタジオシンガーとして数々のCM、ドラマ、アニメイメージソング等を歌う。その後田辺エージェンシーに所属「3人組」という女性3人グループで東芝EMIよりデビュー。テレビ・ラジオレギュラー多数をつとめる。

解散後パブリックイメージに所属し作詞家として荻野目洋子、C. Cガールズ、など多数アーティストに提供。ボイストレーナーとして松嶋奈々子など多数プロ歌手を指導。

ガイドレコーディングシンガー、バックシンガーとして観月ありさ、荻野目洋子、大西結花などのレコーディングやライブに参加。94年オーストリア・ウィーンに渡る。

95年ヨーロッパ最大のロックコンテスト「POPODROM」にて Schockschwerenot と言うドイツ語、英語、日本語のラップと歌のバンドにて出場。4カ国100バンド以上参加した中から優勝。以来、オーストリアを中心にドイツ、スイスなどでライブ活動を行う。

1999年より2003年までヨーロッパ最大の音楽フェスティバル「ドナウ・インセル・フェスティバル」にソロボーカルのバンド「PEKOLOMANIA」として連続出演。ファンクラブには多くのファンを集める。

2004年帰国後、スタジオ、ライブシンガーとして活動を再開するとともに、日本人のメンバーとPekolomaniaJapanを結成。

2015年2月14日、原宿クロコダイルにて、長年企画をあたためていた「The Rose」サウンドトラック・コンプリートライブ」を敢行、エネルギッシュな歌唱で満員の観客を魅了。抜群の歌唱力と魅力的な甘い声を持つ、ビジュアル系(?)ヴォーカリスト。

#### 【vocal】Masa(南 雅章)

日本一歌唱力あるペンキ屋さんから、日本一歌唱力あるラーメン屋さんに転身。歌い手として様々な場所で歌い、楽しく歌えることをモットーに、歌謡曲からJazz、Funk、ハードロックと幅広いジャンルを歌いこなす歌い手。

#### 【bass】田中 淳

安定したリズムを刻む、バンドのリズムセッションの要。ニヒルなベーシスト

#### 【drums】太田久士

横浜ビール 社長。こだわりの地ビール「横浜ビール」のごとく、心に響き沁みるドラミングが魅力

#### 【guitar】山本拓己

オクタ 社長。世界一LOHASなりフォーム会社を経営。頼れるバンドマスター

#### 大川哲郎

大川印刷 社長。創業131年のソーシャルプリンティングカンパニー経営。スライドギターは天下一品

#### 井手 敏和

LBA(ロハスビジネスアライアンス) 代表 歳を感じさせない年齢不詳の湘南ボーイ。

#### 重永 忠

生活の木、Tree of Life 社長。ヘヴィメタル・阪神タイガースをこよなく愛す、地味な努力家ギタリスト

#### 【keyboard】入木 啓作

新宿の音楽スタジオ MUSIC MAN オーナー。Keyを弾いているが、ほんとはHerbie Hancock 好きのJazz Pianist!

#### 【ホーンセクション】

8人のオジサマと一人のDIVAのエンタメ系BRASS POP FUNK BAND、ex-maleからこちらの4人が特別参加!

座光寺基光 (trumpet), 武田和太 (saxophone), Shinya (trombone), 石田雄樹 (trumpet)



## ◆収支報告

### ●収入の部

協賛金		¥730,000
チケット		¥211,000
オークション		¥65,600
売上	物販(ぞうさんペーパー、紅茶、ココア他)	¥71,439
寄付		¥15,208
合計		¥1,093,247

### ●支出の部

音響・照明	会場使用費含む	¥248,400
仕入れ	物販(バーカウンター用飲料他)	¥11,514
運営・制作費・謝礼	運営及びチラシ・パンフレット他	¥86,940
飲食費(スタッフ弁当代)		¥25,000
雑費		¥7,000
合計		¥378,854

総合計 収入 ¥1,093,247 - 支出 ¥378,854 = 収益 ¥714,393 ※左記は概算です。

今回のコンサートの収益金(¥714,393)は全て前述の目的資金用途に使わせていただきます。

本当に皆様ありがとうございました。

今後とも、目に見える支援をモットーに、私達にできることを無理せず、笑顔で、前向きに進めていきたいと考えています。活動につきましては今後も Facebook ページ、ホームページで随時お知らせしてまいりますので、ご覧いただければ幸いです。

Facebook ページ: <https://www.facebook.com/SPUTNIKinternational/>

ホームページ: <http://sputnik-international.jp/>

今後とも、一般社団法人 SPUTNIK International への応援、宜しくお願いいたします。

一般社団法人 SPUTNIK International 一同